

日本労働組合総連合会岩手県連合会
(連合岩手) 発行人 鈴木 圭

〒020-0022 岩手県盛岡市大通1丁目1番16号
TEL(019)625-5505 FAX(019)623-1105
印刷 川口印刷工業(株)

連合岩手「2026春季生活闘争勝利2.28岩手県中央総決起集会」を開催



伊藤闘争委員長 (連合岩手会長)



情勢報告・鈴木事務局長



集会アピール・盛岡中央地協副議長・佐藤賢太郎さん



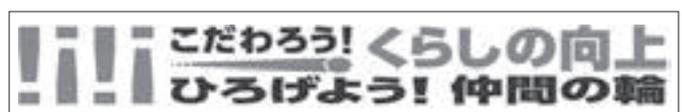
春闘要求実現に向けてデモ行進 (盛岡市)

2月28日(土)岩手教育会館で「2026 春季生活闘争 2.28 岩手県中央総決起集会」を開催しました。約160人が参加し「2026 春季生活闘争勝利」に向けてたたかう意志統一をしました。

冒頭、伊藤闘争委員長は、「マイナスのまま推移している実質賃金を1%上昇軌道に乗せ、これからの賃上げノルムとしていこう、ともにがんばろう!」と訴えました。

第1部は、鈴木事務局長が春季生活闘争をめぐる情勢や闘争課題の共有化のため情勢報告を行いました。

第2部は、産別報告としてJ P 労組澤野将貴さん、電機連合小林斉さん、運輸労連山岸伸行さんから



各産別・単組における春闘の要求や交渉の状況について報告をいただきました。

続いて、盛岡中央地協・佐藤副議長が集会アピールを提起、満場の拍手で確認、伊藤闘争委員長の団結ガンバローで集会を終えました。

集会終了後は、デモ行進を行い「賃上げ実現! 職場環境改善! 格差是正! パートの処遇改善!

最低賃金引き上げ! あらゆるハラスメントを許すな!」と訴えました。



J P 労組・澤野将貴さん



電機連合・小林斉さん



運輸労連・山岸伸行さん

「連合岩手第50回地方委員会」で闘う意思統一

「2026 春季生活闘争方針」を確認

2026年2月6日（金）岩手県高校教育会館において第50回地方委員会を開催しました。議長団に千葉洋一委員（自動車総連）、高橋輝久委員（日教組）を選出し議事を進めました。

地方委員会の開会にあたり、伊藤会長があいさつ、その後、来賓の岩手県労働者福祉協議会金田一文紀副会長（東北労働金庫岩手県本部長）から激励と連帯のご挨拶をいただきました。

報告の部では、2026年度一般活動報告、上期会計報告。議事の部では、第1号議案 2026 岩手県最低賃金のまとめ、第2号議案 2026 春季生活闘争方針、第3号議案 2026 年度一般会計補正予算、第4号議案 役員選出および補充について承認されました。

地方委員会終了後、「2026 春季生活闘争・闘争開始宣言集会」を行い、「こだわろう！くらしの向上 ひろげよう！仲間の輪」の実現に向け一致団結して闘う意思を統一するとともに、伊藤闘争委員長長の団結ガンパローで2026 春季生活闘争をスタートさせました。



会長あいさつ 伊藤会長



来賓あいさつ 労福協 金田一副会長



議長団 千葉委員(自動車総連)高橋委員(日教組)



春季生活闘争方針(案)提起 佐々木副事務局長



団結ガンパロー

R 東北ろうきん

給与振込・年金振込 プレミアムキャンペーン2026

第①弾

2026.2.1日～3.31日*

第②弾

2026.4.1日～9.30日*

第③弾

2026.10.1日～2027.3.31日*

**給与振込、年金振込をご利用の方にプレミアムなプレゼントをご用意！
すでにご利用いただいている方も対象です！**

プレゼントのお受取りには、対象取引やろうきんアプリからのエントリー等、各種条件がございます。
キャンペーンについて詳しくは、こちらの二次元コードよりご確認ください。

地方委員会あいさつ

会長 伊藤 裕一

県内各地から、第50回地方委員会に参加された各構成組織・地方委員の皆さま、大変ご苦労様です。会長の伊藤です。

例年、この時期に開催する地方委員会ですが、本日の地方委員会には、大変お忙しい中、ご来賓として岩手労協より金田一副会長に出席いただいております。また、ご承知のとおり衆議院が解散され、4日後の27日には選挙が公示されました。本地方委員会に各推薦候補の皆様にもご案内したところ、1区・しなたけし候補は、選挙日程を割いて後ほど駆け付けていただきますが、2区・佐々木まこと候補、3区・小沢一郎候補は、選挙区が離れていることもあり、候補者に代わって、立憲民主党県連・佐々木代表、国民民主党県連・軽石代表にご出席いただいておりますので、後ほどご挨拶をいただきたいと思っております。

また、各構成組織より参加された地方委員の皆さま、特別地方委員の皆さまには、日頃の奮闘に対し敬意を表しますとともに、本日は、連合岩手の前進に向けた討議となりますことを期待するものです。

さて、連合岩手が昨年10月22日に定期大会を開催してから、3ヶ月あまりが経過しました。私からは、本日の議案にも関わりますが、これからはじまる春闘の話題に絞って触れさせていただきます。ご挨拶とさせていただきますが、本題に入ります前に、選挙戦11日目を迎えた衆院選について触れさせていただきます。

今回の解散総選挙について、高市総理は会見で「ご自身の信を問う選挙だ」とおっしゃった。その高い内閣支持率を背景に選挙をやって、議席を増やそうという思惑は戦略として一定理解できないでもない。実際に、報道などで自民党有利の情勢も伝えられており、その思惑通りに選挙が

展開されているという事でしょうか。でも本当に、この時期にやらなければならなかったのか。色々言っているが、どう考えても、これは党利党略であって、この選挙に大義なんてありません。責任ある積極財政と言っておきながら、当初予算は間に合わない。予算編成を遅らせたあげく、選挙には850億円とも言われる国費を使う訳です。せっかく野党が前進して、ガソリンの暫定税率廃止も実現しました。これをまた、自民党の一強政治に戻してはなりません。政治を後退させてはなりません。残された時間は限られています。連合岩手推薦候補の勝利にむけ、皆様の、最後までのご奮闘に期待するものです。なお、本日、地方委員会後に開催いたします闘争開始宣言集会は、春闘開始のほか、衆議院解散総選挙勝利にむけた、総決起の場としても位置づけていきたいと思っております。

さてここからは、本題の2026春季生活闘争についてです。昨年の春闘では、連合全体で2年連続となる5%超え、そして岩手においても、前年集計を上回ったほか中央集計も上回り、記録の残る2000年以降、最高の水準を更新することができました。改めて、皆様のご奮闘に感謝申し上げます。これを受けて連合本部では、直近3年間で賃上げの動きは加速しているものの、生活が向上したと実感している人は少数にとどまり、個人消費が依然低迷しているとして、「マイナスのまま推移している実質賃金を1%上昇軌道に乗せ、これからの“賃上げノルム”としていくこと」そして「中小企業や労働組合のない企業などにも、賃上げのすそ野を広げ、格差是正を進めること」が必要だとしています。本部が掲げた目標は、定昇込み「5%以上」、中小組合「6%以上」、非正規「7%以上」です。この水準は、全体では昨年と同程度の水準ということにはなりますが、これを基本としながら、本日、春季生活闘争方針などをご審議いただきます。とりわけこの春闘方針については、私たち働く者、労働組合の力を結集し、力強く今後の取り組みを進めていくためにも、ぜひ、地方委員の皆さまの真摯な討論によって、確立いただきますことをお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお祈りいたします。

マイカー共済

自動車総合補償共済

暮らしを応援!

くるまの補償点検キャンペーン

マイカー共済に新規加入された方へ
クレラップをプレゼント!

キャンペーン期間

2026年 **2/1**(日) ~ **4/30**(木)

こくみん共済 NEWS

0325A020



公式キャラクター
ビットくん



NEW クレラップ

※画像はイメージです

キャンペーンの詳細は
こちらからご確認ください



こくみん共済

岩手推進本部
(岩手県労働者共済生活協同組合)

ジェンダー平等推進に向けたトップリーダーメッセージ

みんなの力で男女平等参画・ジェンダー平等を推進しよう

私たち連合岩手は、連合本部に結集し、ジェンダー平等社会の実現をめざしてきました。日本における2024年のジェンダー・ギャップ指数は、146カ国中118位と、先進国最下位に位置し低迷し続けています。これを変えていくためには、まず私たち労働組合自らが、男女平等参画・ジェンダー平等を推進していく必要があります。

連合本部では、ジェンダー平等推進計画を策定し、これまでフェーズ1の取り組みを進めてきましたが、それを終了し、2024年10月からフェーズ2に移行しました。連合岩手においては、男女平等参画推進委員会を設置し、本部が定めた計画にもとづき具体的な取り組みを推進してきましたが、これまでの取り組みによって、緩やかではあるものの、個別目標の達成が確認されてきています。フェーズ2では、これをさらに加速させていくため、「フェーズ2達成のためのロードマップ」を確認したところです。

これまででもそうですが、ジェンダー平等推進計画達成のため、連合岩手が、あるいは各地域協議会が取り組むだけでは十分とは言えません。各構成組織、各単組に至るまで、共通した認識のもと、それぞれの組織もまた同様に、全体的に取り組んでこそ、さらに加速していけるものと確信します。

ここに改めて宣言します。

私たち連合岩手、そして各地域協議会は、確認されたロードマップに従い、各構成組織、各単組が一体となり、目標達成にむけ、男女平等参画・ジェンダー平等の取り組みを力強く推進してまいりますので、皆様のご理解ご協力を、よろしくお願い申し上げます。



連合岩手
会長 伊藤 裕一

工場と女性活躍と共同と平等

私が所属する産別JAMでは、女性参画が非常に難しい産別であります。まず工場が多く且つ中小規模単組が非常に多い産別であります。そもそも女性従業員を抱えていない所も少なくありません。従業員の1割程度の女性比率という所も多く存在し、その中から手を上げ前に出て良い人を探す苦労は筆舌に堪えがたい状況ではあります。

しかし、ものづくり産別労働組合JAMは、男女が共に人生を豊かに、共に生活と仕事の調和のとれた社会の実現を目指していきます。近年、中小製造業の現場でもようやく女性の活躍が散見され始めてきております。女性が働きやすい職場を実現する事は、男性にとっても負担軽減や生産性向上に繋がります。様々な職種で男女がともに輝ける現場の実現を目指し、JAMは連合の仲間と共に男女平等参画運動を推進していきます。また、女性のJAM運動家の発掘、育成に努めていきます。

ジェンダー平等、定期大会で確認されたロードマップの達成に向け産別上げて協力していく事は勿論の事、構成組織の更なる女性の採用を強力に前に進める為にも連合を始めとした皆さんとのつながりを強化していかなければなりません。



JAM青森岩手
会長 佐々木 正

教宣部の活動で役員の手を育成

私たちの産別労組にはいくつかの職種の労組が加盟していますが、私の働いているバス会社の職場について述べさせていただきます。職種によって基本給は違いますが、同じ職種であれば賃金・労働条件に男女の違いはありませんし、運転士はさらに学歴による違いもありません。

運輸業界にも女性の運転士を見かけるようにはなりましたが、全従業員の8割以上は運転士で、その中の女性の割合は2~3%ほどしかありません。事務員には女性の割合は多いのですが、この産業の特徴として営業所の事務員（運行管理者兼務）には泊りや深夜業務もありますので女性がこの職種に就くことは難しく（安全面の問題）管理職への登用も進んでいません。何よりも早期退職者が多く、会社・組合役員の後継者不足が深刻化しています。

現在、当組合では執行委員6人中、女性が1人（ガイド職）、12支部1分会ある中で1支部に女性書記長（事務員）が就いています。三年前に女性執行委員が入ったことにより以前よりも女性からの要望意見が多く寄せられるようになりました。少しでも女性が働きやすい労働環境、労働条件となるよう会社に要求し改善していく、そのことにより多くの女性に選んでいただける企業となるのがこの産業で問題となっているドライバー不足解消にもつながります。

私鉄総連には伝統ある各種教宣部があります。当組合にも有志による漫画集団・写真集団があり、趣味的要素が色濃く感じられ男女問わず加入し易い組織であります。しかし、その会員のほとんどは数年後に組合役員のを職に就いています。漫画集団はペンを武器に、写真集団はレンズを通してそれぞれの趣味を生かした教宣活動が労働運動を身近に感じられ、その必要性を肌で感じる事が出来るからであります。教宣活動は地味ではありますが、地道な活動は労働運動の基礎であり、縁の下を支えています。特に漫画集団には女性会員もいますので今後に期待をしていますし、さらにはそれぞれの職種から女性の組合役員を選出していくことが職場環境改善の要となっていきます。



私鉄複合産別労連
執行委員長
大坪 勝利
(連合岩手男女平等参画
推進委員会委員長)